太枠内に必要事項を記入してください。支払希望日の10日前までに事務局に届くよう教員へ提出してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｎｏ. |  | 課題名 |  | | |
| 申請者氏名 | |  | | 連絡先 | ―　　　　　― |
| 支払希望日 | | 年 月 日（業務の翌日以降を指定） | | | |
| 以下に謝礼の支払先（講師）に関する情報を全て記入してください。 | | | | | |
| **フリガナ※記入必須**  講師氏名  又は会社名 | |  | | | |
| 所属・肩書 | |  | | | |
| 現住所 | | 〒 － | | | |
| 生年月日 | | 年 月 日（支払先が会社の場合は不要） | | | |
| 振込先 | | 銀行 支店 普通 ・ 当座  口座番号 口座名義（ｶﾀｶﾅ） | | | |
| 業務の日時・  内容  （具体的に） | | 日時： 年 月 日 時 分 ～ 時 分  内容： | | | |
| 謝礼金額  【注意事項】 | | 円（ 税込 ・ 税抜 、交通費 円を含む） | | | |
| 個人に対する謝礼には所得税がかかる場合があります。『補助費支出等の手引き』（別表）を参照してください。謝礼金額は以下の学内基準を遵守してください。  学内講師等については、専門性のある講義に対し、通常業務外にお願いする場合に限ります。 | | | |

謝礼金額の基準

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 内容 | 単位 | 学外者上限額（円） | 学内者上限額（円） | 支払対象者 | 備考 |
| 学外講師等謝礼イ | １コマ | 50,000 | － | 学長、講師内容に係る著名な教授及びこれらに準じる者 | 公開講演会講師、シンポジウム講師等、  嘱託講師が行う講義と比較して講演に  対する準備時間を多く要すると認められる場合 |
| 同上 | 30,000 | － | 教授及びこれらに準じる者 |
| 同上 | 20,000 | － | その他 |
| 学外講師等謝礼ロ | 同上 | 25,000 | － | 学長、講師内容に係る著名な教授及びこれらに準じる者 | ゲストスピーカー招へいを前提として例年行う講義や研究会講師等、嘱託講師が行う講義と比較して講演に対する準備時間が同程度と認められる場合 |
| 同上 | 15,000 | － | 教授及びこれらに準じる者 |
| 同上 | 10,000 | － | その他 |
| 学内講師等謝礼 | 同上 | － | 30,000 | 学外で開催する公開講演会講師等 |  |
| 同上 | － | 20,000 | 学内で開催する公開講演会講師等 |  |
| 同上 | － | 10,000 | 講義におけるゲストスピーカー、学外で開催する入試広報のための模擬講義講師等 |  |
| 同上 | － | 5,000 | 学内で開催する入試広報のための模擬講義講師等 |  |
| 助言等謝礼 | 同上 | 25,000 | 10,000 | 学長、助言内容に係る著名な教授及びこれらに準じる者 | 研究会における専門的知識の供与、  シンポジウム等における司会者、  パネリスト、事例発表者等 |
| 同上 | 15,000 | 教授及びこれらに準じる者 |
| 同上 | 10,000 | その他 |
| 翻訳謝礼 | 字数 | 4,800 | 4,800 | 本業等でない者 | 和文→英文等、英文等→和文ともに、  日本語４００字あたり |
| 校閲謝礼 | 同上 | 2,600 | 2,600 | 本業等でない者 | 外国語３００語あたり |